

国際化学肥料ニュース (2012年8月)

肥料業界の2012年8月動態

- * インド肥料協会 (FAD)が今年第2四半期(4~6月)のDAP生産販売データを公表した。国内生産量64.8万トン(昨年より28%減)、輸入83.44万トン(昨年より12%減)、販売量129万トン(昨年より9%減)。国内生産量が大幅減少した原因はモロッコとのりん酸輸入契約が不調だったため、国内りん酸原料が不足した。また、7月もDAP生産量32.4万トン、輸入量59.5万トン、販売量59.7万トン、すべて昨年同期より減少した。7月末のDAP在庫量36.32万トン。一方、MAPについては、7月の輸入量5.5万トン、販売量1.6万トン。7月の化成肥料(NP/NPK)の生産量が64.47万トン(昨年より23.65%減)、輸入1.87万トン(昨年より80.67%減)、販売量66.29万トン(昨年より23.65%減)であった。輸入量と販売量が激減した理由はインドルビーの為替レートが急落で、輸入価格が急劇上昇したためである。世界最大のりん酸肥料輸入国インドの生産、輸入、販売がすべて不振により、今年下半期の国際りん酸肥料の価格が下落する可能性が大きい。
- * カナダマニトバ州の農業組合(KAP)は大手肥料会社の価格コントロールを脱するため、アメリカノースダコタ州とサウスダコタ州農家組織の協力を得て、マニトバ州西部に自前で窒素肥料の工場を建設することを決定した。総投資額15億ドル、北アメリカ産天然ガスを原料とする。製品はすべて組合員に直接販売する。
- * ベトナム新聞の報道によれば、今年1~7月国内化学肥料生産量が大幅増加した。尿素生産量89.6万トン(61.4%増)、DAP15.5万トン(28.5%増)。また、国営ベトナム石油の化学肥料子会社DPMの副社長は、新尿素工場の完成により、今年の尿素生産量が260万トンを超えることが確実になり、国内需要量が200万トンで、余剰の尿素を輸出に回らなければならないと述べた。目下、有望の輸出先は東南アジア諸国連合(ASEAN)で、今年上半期にDPMがすでにフィリピン、カンボジアとミャンマに5万トンを輸出し、来年から会社売上高の25%に当たる30万トン/年の尿素を輸出する予定である。

(*当社も8月にベトナムから尿素をテスト輸入した。)
- * ブラジルヴァーレ社はカナダSaskatchewan州Kronau加里鉱山のプロジェクトを中断すると発表した。当該加里鉱山開発プロジェクトは予定投資30億ドル、完成後年間280万トン塩化加里を生産する予定である。一方、オーストラリアとイギリ

スの BHP billiton 社もカナダ Saskatchewan 州 Jansen 加里鉱山の今年投資計画を延期すると発表した。BHP 社にとって、Jansen 加里鉱山が初めての加里資源プロジェクトで、2015 年完成後、800 万トン／年の塩化加里を生産する予定で、総投資額 120 億ドル、すでに 10 億ドルを投資した。大手 2 社の投資計画変更の背景には世界経済の不振と資源価格の下落により、将来の需要が不明瞭となる一方、会社の収益が大きく落ち、投資余力が乏しくなったと推測された。

- * ブラジル税関の発表によれば、今年 1~7 月尿素輸入量が 114.9 万トン（昨年より 19%減）、MAP 輸入量 85 万トン（昨年より 24%減）であった。MAP 輸入減少の原因は国内 MAP 生産量が昨年より 25 万トン増加したためである。8 月中旬現在、ブラジルの MAP 輸入価格が CFR605~610 ドル／トン、DAP が CFR595~600 ドル／トンである。
- * ロシア統計局が化学肥料の生産量データを公表した。今年 1~7 月、窒素肥料生産量 477.7 万トン（昨年より 1.7%増）、りん酸系肥料 234 万トン（昨年より 2.9%減）、加里肥料 419.1 万トン（昨年より 4%減）。化学肥料生産量合計 1079.2 万トン、昨年より 1.4%減であった。
- * オーストラリアは有力なりん安肥料輸出国に名乗った。今年 1~6 月の DAP 輸出量が 14.7 万トン（昨年より 35%増）、特に 6 月に 6.3 万トンも輸出した。メーカーは IPL 社、輸出商社は Quantum 社で、主な輸出先はバングラデシュとインド、ニュージーランドである。
- * インド MMTC が 8 月 30 日に締め切った尿素入札の結果を公表した。17 社計 84.5~95.5 万トン尿素的の応札があり、最低応札価格 CIF389.9 ドル／トン、7 月インド IPL の尿素入札結果より 17 ドル／トン安くなった。
- * 今年上半期、南米主要 6 か国（アルゼンチン、ブラジル、チリ、コロンビア、エクアドル、ペル）の尿素輸入量が 160.5 万トン、昨年同期より 28%減。特にアルゼンチンが 93%減の 1.5 万トン、ブラジルも 26.7 万トン減の 97.8 万トン。尿素輸入量激減の理由は、国内生産量の増加、旱魃の影響と今年 3~6 月国際尿素価格の急騰である。

大手各社の営業業績

- * ヨルダン国営りん酸塩社（JPMC）は今年上半期の業績を発表した。売上利益 1.3 億ドル、税引き前利益 1.2 億ドル、純利益 1.07 億ドル。ヨルダンはりん資源が豊富で、国土面積の 60%以上はりん鉱石の埋蔵が確認された。JPMC 社はりん鉱石採掘とりん酸塩類生産の独占企業で、年間りん酸塩類の生産量が 700 万トン、世界第 6 位のメーカー、第 2 位の輸出業者である。
- * ヨルダンのアラビア加里（APC）は第 2 四半期の業績を発表した。加里肥料生産量 40.3 万トン、販売量 49.6 万トン、平均販売価格 471 ドル/トン、売上高 2.34 億ドル、純利益 0.92 億ドルで、すべて昨年より劣った。なお、今年 1~6 月の上半期合計では、加里肥料生産量 97.2 万トン、販売量 93.1 万トン、平均販売価格 473 ドル/トン、売上高 4.404 億ドルであった。
- * インド肥料メーカー Rashtriya Chemical Fertilizer（RCF）社は今年 4~6 月の業績を発表した。税引き前利益 268.4 万ドル、純利益 117.5 万ドル。政府の化学肥料に対する補助金の削減と不良気候の影響で、DAP と PK 化成肥料の販売量が急激に減少し、業績が大きく影響された。

肥料資源の発見と肥料プラント新規建設

- * カナダ ICP 社はアメリカニューメキシコ州 Ochoa の加里鉱山探鉱プロジェクトの 2 本探鉱井戸を完成し、加里鉱石の埋蔵量が 3.4 億トンを超えると推測した。現在、実行可能性研究を進行中である。
- * オーストラリア South Boulder 社はアフリカ東部エリトリアの Colluli 加里鉱山から新たに加里鉱石の鉱脈を見つけたと発表した。当該新発見鉱脈の平均厚さ 4.7m、KCl 含有量 28.6%、地表からの深さが 300~600m で、採掘しやすいとのことである。
- * アメリカ Passport Potash 社はアリゾナ州 Holbrook 盆地にある加里鉱山の最新探鉱結果を発表した。加里鉱石埋蔵量 2.5 億トン、サンプルの KCl 含有量 19.42%である。
- * イギリス Sirius 鉱産は 8588 万米ドルを投資して、ヨーク郡にある加里鉱山に建設に着手すると発表した。Sirius 鉱産はすでにヨーク郡加里鉱山の採掘精製技術と経済性検討を終えた。当該研究報告によれば、この加里鉱山はポリハライト（ $K_2MgCa_2(SO_4)_4 \cdot$

2H2O)として世界最大規模の鉱山で、鉱石のポリハライト含有量 88.7%、埋蔵量 13.5 億トンである。

- * ラテン石油ガス社はポリビアに天然ガスを原料とするアンモニアと尿素工場の建設を計画する。尿素生産能力が 2100/日、当該工場の投資額 8.43 億ドル、建設期間 2 年と予定。
- * ベトナムがラオスに加里資源を確保する。2008 年 9 月ラオス政府はベトナム化学公団 (Vinachem) に Khammouan 州と Savannakhet 州に総面積 196.5km² の地域に加里鉱山の探鉱許可を認めた。今年 8 月 20 日、Vinachem はその加里資源探鉱報告を公開した。発見した加里鉱石埋蔵量が 3.5 億トン、食塩 20 億トン、予測では加里と食塩資源量が 90 億トン以上。ベトナム側は 4.5 億ドルを投資し、20 年間の採掘権を確保したようである。
- * アフリカナイジェリアの Elephant Group はナイジェリア国内に 50 万トン/年の肥料工場を建設する。投資額約 2 億ドル。Elephant Group は輸入輸出を手掛ける貿易会社である。ナイジェリアの化学肥料需要量が 200~300 万トン/年と推測される。
- * オーストラリア Orica 社はニューサウスウェルズ州 Kooragang 島にある窒素肥料工場を改造・拡張する。2010 年 10 月~2011 年 8 月に当該工場が数回にわたって化学薬品漏洩事故が発生し、そのたび生産停止となった。今回の改造・拡張計画は最新の設備を導入する同時に生産能力も現在のアンモニア 30.3 万トン、硝安 43 万トンからアンモニア 55 万トン、硝安 75 万トンに増強する。投資総額 5.24 億ドル。

その他

- * アメリカ CF 社はスイスの Glencore International AG 社から当該社のカナダ子会社カナダ肥料 (CFL) を買収する。買収価格 9.153 億ドル。CFL 社はカナダアルバータ州 Medicine Hat 市にアンモニアと尿素工場を有し、生産能力はアンモニア 125 万トン/年、尿素 81 万トン/年である。
- * ロシア Acron 社はポーランド化学肥料メーカー Zakłady Azoty Tamow 社 の株式 12.03%にあたる 770 万株を購入した。購入金額は約 1 億ドル。Acron 社は Zakłady Azoty Tamow 社の 66%株式を買収する計画であるが、ポーランド政府 (32%株式を有

する)からの同意が得られなかったし、Zaklady Azoty Tamow 社もそれ以上の株式の譲渡を拒否した。

- * 中国政府統計局の統計データによれば、今年 1~6 月、中国りん酸肥料生産量(純 P2O5 換算) 979.8 万トン、昨年同期より 18.3%増。内訳は DAP638.9 万トン(昨年より 4.2%増)、MAP512.6 万トン(昨年より 2.7%増)。年内 DAP 180 万トン、MAP100 万トンの新設生産能力が完成し、生産開始の予定である。また、1~6 月にりん酸肥料の輸出量は DAP27 万トン、MAP11.5 万トン、重過石 39.3 万トン、過石 43.3 万トン、NP 化成 44.6 万トン、P2O5 換算では 35.6 万トンであった。
- * オランダ Boskalis 社はニュージーランド CRP 社の 20%株式を取得した。両社は共同でニュージーランド東部 Chatham 諸島の海面下にあるりん鉱石を採掘し、ニュージーランド南島にりん酸塩工場を建設する計画。
- * エジプト Mopco 社は Damietta にあるアンモニアと尿素工場を再開した。環境問題で地元民衆が抗議デモを起こし、昨年 11 月 13 日から生産停止となった。今年 3 月 20 日地元裁判所から出した判決は Mopco が緑化等を通して、地元環境改善に努力する前提で、工場の再開を認める。当該工場の生産能力はアンモニア 39.6 万トン/年、大粒尿素 63.5 万トン/年である。Mopco は 2008 年から当該工場の拡張を計画して、アンモニア 39.6 万トン/年と尿素 63.5 万トン/年の生産ラインを 2 セット増設して、2012 年から生産開始と目論んでいた。昨年 11 月工場生産停止時点では、増設工事の 90%をすでに完成した。
- * ロシア PBK Research 社が公表した 2012 年りん酸肥料市場調査報告では、ロシアがモロッコ、ヨルダン、シリアと中国と並んで、世界精製りん鉱石の輸出大国であると指摘した。ロシアが毎年採掘・精製したりん鉱石の 30~35%を輸出に供し、主な輸出先がノルウェー、ベルギー、オランダである。また、ロシアが生産したりん酸系肥料の 85~90%を輸出に供し、主な輸出先がウクライナ、パキスタン、メキシコ、ブラジル、過去 10 年間の輸出量が増え続ける。2010 年ロシアりん安輸量 200 万トン、前年度より 10.9%増、2011 年りん安輸量 220 万トン超、生産量の 80%を占めた。
- * アルジェリア政府は当該国の国営石油 Sonatrach 社とエジプト OCI 社が共同で建設した Sorfert 尿素工場の生産を停止させた。理由は尿素生産許可証なしで勝手に生産開始したことである。また、当該工場は輸出資格がないため、試運転で生産し在庫している

4~5 万トン尿素も輸出禁止となった。Sorfert 尿素工場は Sonatrach 社が 49%、OCI 社が 51%の株式を持ち、今年 3 月に完成したばかりである。生産能力がアンモニア 4400 トン／日、尿素 3450 トン／日である。